

# よろくぶ通信

群馬県立玉村高等学校

発行日 2025. 3. 24

第66号

発行人 校長 田中 理香

## 第66回卒業証書授与式

早いもので令和4年に入学した生徒たちも卒業の季節を迎えました。3月3日(月)に来賓として同窓会長 倉林教夫 様、PTA会長 岡田加奈子 様に御臨席いただき、第66回卒業証書授与式が盛大に挙行されました。

今年度の卒業生は75名です。保護者や在校生の見守るなか厳粛に式は進行しました。

国家や校歌、式歌(揚げば尊し)の斉唱では卒業生、在校生ともに大きな声で歌うことができ、感動しました。入場から、式の進行中、最後の退場の場面では卒業生の心中では過ぎ去った3年間は走馬灯のように蘇り、新しい門出への希望を感じていたのではないのでしょうか。卒業生はもちろん保護者や在校生にとっても感慨深い卒業式でした。

卒業生代表の答辞は前生徒会長の丸山結花さんが行いました。その内容は、3年間の日々の生活への思い、学校行事の思い出、同級生や後輩、家族への感謝等でした。たいへん気持ちのこもった答辞でした。答辞の結びは卒業後の希望と決意でこう締めくくられています。

「皆様からいただいた数々のお祝いや激励のお言葉を胸に、本日私達は卒業し、新たな道を歩みます。それぞれ違う道とはなりますが、誇りをもって真っ直ぐに前を進んでいきたいと思えます。」



この答辞のように本校で学んだ3つの精神「奉仕、勇気、誠実」を胸に刻み、卒業後の夢や未来に向かって力強く歩いて行ってほしいと思います。

また、予行練習及び卒業式ときには、次の生徒が表彰されました。

<学校表彰 学業成績優秀>

戸矢 梓 丸山結花

<学校表彰>

椎名ヒロカズ 田口謙結

<3カ年皆勤者>

清水満月 関口瑞希 中野翔太 西田凱星

八木貴也 井口ヒデキ 磯部百花 上原拓人

岡田日和

<3カ年精勤者>

石田彩音

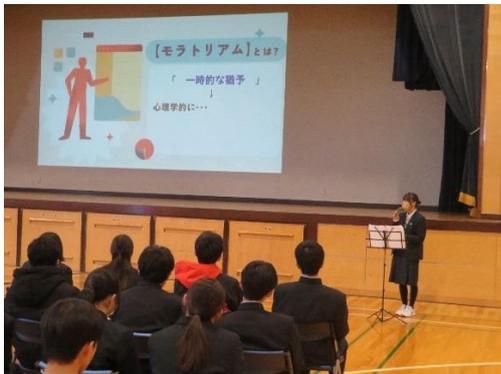
<三学期の行事&次年度に向けて>

3学期も様々な学校行事がありました。

○2月4日(火) 着こなしセミナー



スーツの株式会社から講師を派遣していただきました。3年生がスーツの着こなし方のポイントやネクタイの締め方などを学びました。ネクタイは実際に締める練習をしました。みな楽しんで練習できました。  
○2月6日(木) 課題研究発表会



高校生活の学習を基盤にして興味を持ったこと、疑問に思ったことなどテーマに代表者が発表しました。完成度が高いだけでなく、とてもユニークで興味深い発表もありました。

○2月10日(月) 3年生を送る会



合唱、クイズ、スライド、ダンス、吹奏楽、バンドの演奏、思い出のスライド上映等盛りだくさんでした。全校の生徒が楽しみ、盛り上がりました。

また、3月5日(水)には令和7年度入学者の合格発表があり、3月17日(月)には合格者オリエンテーションが行われるなど、新年度に向けての準備が進んでいます。

〈よろくぶ通信3学期 校長室だより〉

校長 田中 理香

令和6年度第3学期が終了します。3学期始業式では「今学期は1年間の集大成の時期になる。それぞれが1年間の仕上げをし、自分に、友達に、先輩に、後輩に『おめでとう』と心から言えるそんな学

期にしてほしい。」と話しました。

生徒はそれぞれ、卒業や進級に向けて努力をする中で、本校の行事にも積極的に取り組んでいました。1年生は総合的な探究の時間のまとめとして発表会を行い、2年生はキャリア教育の一環として、進路行事に参加しました。また、3年生を送る会が盛大に行われ、各クラス、部活動の催し物に生徒たちの努力と協力を感じる素晴らしい会になりました。

そのような中で行われた第66回卒業証書授与式。来賓の思いのこもった祝辞や、卒業生へ感謝とはなむけを送った送辞、3年間の思い出がよみがえるような答辞。そして、保護者の思いがたくさん詰まった保護者代表謝辞と、とても感動的なものになりました。

その中で私は次のことを話させていただきました。

「アメリカ野球殿堂入りの際、満票にならなかったイチロー氏は、『1票足りないのはすごく良かったと思います。人って、色々なことが足りない。それを自分なりの完璧を追いかけて進んでいくのが、人生だと思うんですね。生きていく上で不完全だから進もうとするわけで。そういうことを改めて考えさせられる。見つめ合える。そこに向き合えると言うのは良かったな、と思います。』と話されたことに、まだまだ伸びしろがあると信じて、自分の人生を突き進んでいく姿に尊敬の念を感じる。本校のスローガン『璞玉から珠玉へ』も常に自分を磨き、より高みを目指す皆さんの成長を願う言葉である。この言葉を心の中にしっかり懐き、自分と向き合い、自分を高めながら、これからの人生を歩んでいってほしい。」

この思いは在校生に対しても常に持ち続けている私の願いです。また、4月から生徒の成長に期待していきたいと思います。

